学校だより 9月号







令和7年9月19日

学校教育目標

東広島市立平岩小学校

「かしこく やさしく つよく」生きる子どもの育成 hiraiwa-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp

HP URL http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/hiraiwa-sho/

夏休み、楽しい思い出できたかな?! 前期後半スタート、元気にがんばっています

開放プールや全校登校日の平和学習、北広島市児童との交流など学校の夏休み行事も無事終わり、子 どもたちの元気な声が平岩小学校に戻ってきました。子どもたちは夏休みを終え、心機一転!前期後半を スタートさせています。家庭でのいろいろな思い出や、宿題のことなどたくさん話してくれました。はじ めの三日間は4時間授業だったので、比較的時間にも気持ちにも余裕をもって、生活リズムを整えること ができたように思います。前期後半のまとめに向けて、頑張ってほしいと思います。





夏休みの開放プール

地域の方や学生さん達 10 名のプール 監視員さんが、酷暑の中、連日子どもた ちの監視指導をしてくださいました。お かけで安全に楽しく開放プールを利用 し、楽しむことができました。

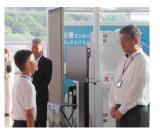












北広島市子ども大使交流

8月7日、姉妹都市である北広島市立双葉小学校6年富田 さんが本校を訪問され、全校児童と交流。8月22日からは本 校6年山本君が「東広島子ども大使」として北広島市を訪問 し、交流しました。相互に交流をすることを通して、姉妹都市 への理解や関心を高めることができました。



5年生「こころの授業」

児童生徒のかけがえのない命を守るための生きる力 を育むことを目的として、東広島市における児童生徒へ の自殺予防教育プログラム『「わたし」も「あなた」も 大切に☆こころの授業』を行いました。

担任、スクールカウンセラー、養護教諭が協力して授 業を行い、「大切な一人一人」であることや、困った時 にはどうしたらよいかについて真剣に考えることができ ました。ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。







広島大学交響楽団による

「音楽教室」

広島大学交響楽団の「音楽教室」 を開催しました。オーケストラによる 生演奏を目の前で味わい、多くの 楽器の音色を感じる良い機会とな りました。本校の校歌も演奏してく ださり、子供たちは大喜びでした。





今後の行事予定

☆10月10日(金)午後

11日(土)前期末個人懇談

全保護者の皆様を対象

駐車場は校庭、最徐行にてお願いします。

☆10月19日(日)PTA環境美化作業

8:00~10:00(受付7:30)

集合場所: 平岩小学校グラウンド

多くの皆様のご協力をお願いします。詳細については 市民ポータルサイトにてお知らせしております。

参加・不参加等についてフォームにてお願いします。

☆10月30日(木)授業参観·保護者講演会

2 時間目授業参観(道徳) 9:20~10:05

参観後、広島大学大学院准教授 山崎 茜 先生の 「子育て講演会」を予定しております 詳しくは後日お知らせします。保護者の皆様のご参加 をよろしくお願いします。

☆11月8日(土)学習発表会 午前開催 10日(月)振替休日

☆11月20日(木)「元気・絆・フェスティバル」 6年生寺家会主催行事に参加 inくらら

10月学校行事予定 令和7年度

	東広島市立平岩小学					
日	曜	学校行事·PTA行事	下校時刻			
1	水		1.2年 14:35 3~6年 15:30			
2	木	5時間授業 6年放課後子供教室	1~6年 14:35 学年下校			
3	金	第3回避難訓練 磯松中オープンスクール SC 相談日(13:15~16:15)	1.2年 14:35 3~5年15:30 6年 16:00			
4	±					
5	日					
6	月	委員会活動	1~4年 14:35 5·6年 15:30			
7	火		1年 14:35 2~6年 15:30			
8	水	心サポ	1.2年 14:35 3~6年 15:30			
9	木	4時間授業 1.2年生放課後子供教室	1~6年:13:25 学年下校			
10	金	4時間授業 前期終業式·個人懇談会(午後)	1~3年:13:10 4~6年13:00 学年下校			
11	±	個人懇談会(終日) 平岩ふれあいフェア				
12	日					
13	月	スポーツの日				
14	火	秋季休業				
15	水	秋季休業				
16	木	4時間授業 後期開始·後期始業式 就学時健康診断	1~6年:13:00 学年下校			
17	金	4時間授業 人権教室2年	1~6年:13:25 学年下校			
18	±					
19	日	PTA環境整備8:00~10:00				
20	月	クラブ活動	1~3年 14:35 4~6年 15:30			
21	火		1年 14:35 2~6年 15:30			
22	水	心サポ	1.2年 14:35 3~6年 15:30			
23	木	5時間授業3.4年 放課後子供教室	1~6年 14:35 学年下校			
24	金	学校運営協議会 平岩ゼミ	1~6年 14:35 学年下校			
25	±	市内小学校陸上記録会				
26	日					
27	月	委員会活動	1~4年 14:35 5.6年 15:30			
28	火		1年 14:35 2~6年 15:30			
29	水		1.2年 14:35 3~6年 15:30			
30	木	道徳参観日②・子育て講演会(広大 山崎 茜 先生)・SC 相談日(8:30~12:30) 5年放課後子供教室	1~6年 14:55 学年下校			
31	金		1.2年 14:35 3~6年15:30			

全国学力・学習状況調査の結果分析および今後の取組について

令和7年9月東広島市立平岩小学校

1 全国学力・学習状況調査の結果と分析

	国語科平均正答率(%)	算数科平均正答率(%)	理科平均正答率(%)
東広島市立平岩小学校	69	62	63
広島県(公立)	69	59	59
全国(公立)	66.8	58	57. 1

国語科

○国語科の本校正答率は、全国平均を約2ポイント上回り、広島県と同等の正答率でした。全体的に国語科の力は概ね定着 していると言えます。

(正答率の低かった問題)

- ・事実と感想、意見などとの関係を、叙述を基におさえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する問題(正答率54.2%)
- ・目的に応じて、文章と図表を結び付けるなどして、必要な情報を見付ける問題(正答率 47.5%)(正答率 39%)

(今後の取組)

- ・二つの文章を比較し、共通点や相違点を整理しながら自分の考えを形成していく学習の時間を確保します。
- ・たくさんの資料の中から、それぞれの資料の要点を理解し、自分の考えを説明するために必要な資料を基に自分の考え を書く場面を設けます。
- ・音読、読書などに取り組ませ、長い文章を読むことに慣れるようにしていきます。

算数科

○算数科の本校正答率は、全国平均、県平均ともに上回っていました。全体的に算数科の力は概ね定着していると言えます。

(正答率の低かった問題)

- ・目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する問題(正答率35.6%)
- ・基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述する問題(正答率39%)
- ・分数の加法について、共通する単位分数を見出し、加数と被加数がその単位分数のいくつ分かを数や言葉を用いて記述する問題(正答率28.8%)
- ・10%増量の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表す問題(正答率 39%) ※全体的に記述式の問題の正答率が低い。

(今後の取組)

- ・問題を解くだけでなく、なぜその式になるのか、どのようにして求めることができるのかなど、自分の考えを説明する時間を確保します。その際、ペアトークやディスカッション等を通して対話的な学びの時間を確保し、よりよい説明ができるようにしていきます。
- ・ICT などを活用し、それぞれの問題場面を具体的にイメージできるようにしていきます。さらに、多様な方法で問題解決ができる場面を仕組んでいきます。
- ・「割合」の考え方が苦手な児童が多いため、帯タイムや家庭学習などで復習に取り組むようにします。

理科

○理科の本校正答率は、全国平均、県平均をともに上回っていました。全体的に理科の力は概ね定着していると言えます。 (正答率の低かった問題)

- ・電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる問題(正答率 39.0%) →電気についての既習知識が実際の生活場面の中で、どのように取り入れられているかを考えていくことが必要。
- ・種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見い出し、表現することができるかどうかをみる問題(正答率35.6%)
- →既習知識を基にして、新たな課題や問題を自分の力で見い出し、解決していくという経験が必要。

(今後の取組)

- ・日々の授業の中で、自分たちで課題を設定する場面を意図的につくり、学習を進めていきます。
- ・実験や観察を行った後の結果からどのようなことが分かるのかについて個々が考える場面を多く仕組んでいきいます。
- ・授業で得る理科的知識が、単なる知識で終わることなく、日常生活と関連付けて考えることができる汎用的知識にしていけるような単元構成にしていきます。

2 児童質問紙(特に注目する内容)

肯定的な回答をした児童の割合(%)

項 目	平岩小	広島県	全国
学校に行くのは楽しいと思いますか。	91. 2	85. 1	86. 5
将来の夢や目標を持っていますか。	82. 5	86. 6	86. 5
自分にはよいところがあると思いますか。	93. 0	88. 1	86. 9
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな 考え方に気付いたりすることができていますか。	94. 7	86. 5	84. 9

○上の表の結果から、学校に行くことに肯定的な思いをもっている児童が多いことが分かります。

また、自分の良いところを理解していること、学習の中で自ら考えて学習を進めていくことに対しても、広島県や全国の 平均値と比較するかなり高い結果となっています。本校の6年生児童は、自己肯定感が高く、共感的な人間関係を通して 学習をすることの大切さを理解していると言えるでしょう。

しかしながら、将来の夢や目標をもって生活していくことに肯定的な児童の割合は、広島県や全国の平均値と比較すると若干低い結果となりました。

(今後の取組)

- ・授業の中で、自ら計画を立て、調べたり考えたりする学習や、友だちとの「学び合い」を軸とした学習などを取り入れ、自主的な学習の力や、多様な考えを取り入れ、深めていく力を育てていける授業を展開していきます。
- ・構成的グループエンカウンター等の取組を学級活動に取り入れて、お互いに認め合い、協力し合う学級づくりを進めていきます。
- ・児童自身に目標を立てさせて、その目標に向かって努力を積み重ねていく学習を進めます。
- ・将来の社会的自立・職業的自立に向けて、「なりたい自分」をイメージし、それに向けて逆向き設計のできるキャリア 教育の充実に取り組みます。

